

事例 2

小説と映画を比較して「舞姫」を読み味わう

1 育成を目指す言語能力

(1) PISA型「読解力」の立場から育成を目指す能力

ア テキストを理解・評価しながら読む能力を高めること

(ア) 目的に応じて理解し、解釈する能力の育成

(イ) 評価しながら読む能力の育成

*「読解力向上に関する指導資料—PISA調査(読解力)の結果分析と改善の方向—」(文部科学省)より
 テキストに書かれた情報を理解するだけでなく、「なぜそう書いたのか」、「どのように書いてあるのか」ということを「解釈」したり、テキストの表現の仕方を「熟考・評価」して自分の意見を書いたりする学習活動を展開する。

(2) 国語科の立場から育成を目指す能力

文学的な文章を読んで、文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して的確にとらえ、作品を読み味わう能力を育成する。そのために、現代文の言語活動例の「ウ 文章の理解を深め、興味・関心を広げるために、関連する文章を読んだり、創作的な活動を行ったりすること。」を参考に、小説と映画を比較して表現方法の違いや表現者の意図を考えて文章にまとめたり、物語の最後の部分を創作したりする言語活動を取り入れる。

○該当する学習指導要領の指導事項

現代文「C読むこと」

イ 文学的な文章について、人物、情景、心情などを的確にとらえ、表現を味わうこと。

2 学習活動の概要

(1) 単元名 小説「舞姫」(森鷗外)

(2) 単元の目標

- ①小説の世界と自己の経験とを引き比べて読んだり様々な表現を比較したりすることで、ものの見方や感じ方を広げたり深めたりする態度を身に付ける。 (関心・意欲・態度)
- ②人物の心情や人物の相互の関係を把握する。 (読む能力)
- ③小説と映画を比較することで、表現の意図や表現方法の違いを理解する。 (読む能力)
- ④語句について、その意味や用法を理解し、語彙を豊かにする。 (知識・理解)

(3) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
①小説の世界と自己の経験とを引き比べて読んだり様々な表現を比較したりすることで、ものの見方や感じ方を広げたり深めたりしようとしている。	①人物の生き方や心情の推移を的確にとらえ、出来事の影響をつかみながら読んでいる。 ②文字情報からなる小説と、音声と映像の情報からなる映画を比較することで、表現方法の違いや映像制作者の意図について自分なりの考えを深めている。	①語句の意味・用法を理解し、語彙を豊かにしている。

(4) 指導と評価の計画 (14時間)

時間	学習活動	指導上の留意点	単元の評価規準と評価方法
1	作者及び小説が書かれた時代の背景を理解する (1) 森鷗外、明治の時代を予備知識として学習する。 (2) 森鷗外に関する新聞を作成する。	○作者の体験や明治の日本人の考え方が、作品に大きな影響を与えていることを説明する。 ○便覧を参考にさせ、どのようなことを取り上げたらよいのかヒントを与える。<u>資料1</u>	
2 9	本文の内容を理解する (1) 各段落を音読し、本文を読解する。辞書や脚注を参考にして、漢字・語句を確認する。 (2) チェックテスト<u>資料2</u>で、段落ごとの内容を確認する。	○補助教材として、井上靖の『現代語訳 舞姫』(ちくま文庫)から引用した資料(著作権の関係で本誌には掲載しない)や漫画を活用しながら、次の段落に興味をもつように読ませる。	読む能力① (教師の発問に対する回答) 知識・理解① (小テスト) 読む能力① (チェックテストへの記述の確認)
10 11	小説と映画を比較する (1) 小説と映画の最後の場面を比較し、脚本家の意図を考える。 (2) 小説と映画の結末について考察する。	○篠田正浩監督の映画『舞姫』を鑑賞して、小説との違いを用紙<u>資料3</u>に記述させ、脚本家がなぜそのように変えたのか、意図を考えさせる。 ○小説と映画の結末を比較し、どちらが適当か判断し、その理由も述べさせる。<u>資料3</u>	読む能力② (ワークシートへの記述の確認) 読む能力② (ワークシートへの記述の確認)
12 13	最後の場面を創作する (1) 場面を変えた意図を考えて創作し、自己評価する。 (2) (1)で書いた作品を相互評価する。	○場面を変えた意図に沿って書くようにさせる。<u>資料4</u> ○感想・アドバイスを書かせる。<u>資料5</u> ○よく書けている作品を数点選んで発表させる。	知識・理解① (ワークシートへの記述の確認、観察) 読む能力① (ワークシートへの記述の確認、発表の様子の観察)
14	登場人物を一人選び、その立場に立って考える (1) ある登場人物の立場に立って、自分だったらどのような行動をとるか考える。 (2) 全体の感想をまとめる。	○行動の理由も述べさせる。<u>資料6</u> ○何名か発表させる。 ○小説全体を読み終えての感想を書かせる。<u>資料6</u>	読む能力① (ワークシートへの記述の確認、発表の様子の観察)

※「関心・意欲・態度」は単元全体を通して評価する。

3 評価の例

本単元の目標は、「文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう」ことであり、その学習を効果的に進めるために、「小説と映画を比較して、表現者の意図や表現方法の違いなどについて考えを書く」という言語活動を取り入れた。

映画では最後の場面の設定が小説と違っていることから、映画の脚本家はなぜ設定を書き換えたのか、生徒にその意図を探らせた（資料3の活動）。生徒のほとんどが、小説と映画を比較をした上で脚本家の意図を推察していた。一部に、映画の場面だけから「その後の展開が難しいから」などと書いた生徒や、なぜ、どのように難しいのかという説明が不十分な生徒もいたため、提出させたワークシートに、教師の評価の他に、コメントやアドバイスなどを書き添えてフィードバックした。

4 成果と課題

(1) 成果

『舞姫』は、生徒にとってはほとんど古文と同様であり、しかも長文であるために、最初から敬遠してしまう者も少なくない。しかし、映画と比較して読んだり、映画の脚本家が最後の場面を原作と違うストーリーに書き換えた理由を考えたりしたことによって、生徒は小説をより深く理解し、味わうことができた。また、物語の最後の場面を自分なりの意図をもって創作する活動では、意図に沿うように書くことの難しさとともに、目的をもって表現することの難しさを実感しながらも、学習活動に熱心に取り組んだ。

これまでの自身の指導を振り返ってみると、従来の「読むこと」の学習においては、『舞姫』のように内容や語彙がやや難解なテキストの場合、「何が書いてあるか」を読み取らせることに多くの時間を割くという、「情報の取り出し」に重きを置いた指導をすることが少なくなかった。しかし、PISA型「読解力」の指導のねらいを意識して、「解釈」や「熟考・評価」に当たる活動を取り入れたことで、生徒の自主的・主体的な学習活動を促すことができた。単元の最後の感想に、「いろいろ考える場面があり、物語の中に入っていたような気分になった。」（資料6）と書いた生徒がいるように、「考えること」や「自分の意見を書くこと」の大切さを実感したようである。

また、この実践の指導者自身も多くのことに気付くことができた。特に、次の二点については、これまでの指導の反省であるとともに、今後の指導上の留意点として記しておく。

①目的を明確に示すことで、生徒は自主的に学習活動に取り組めるようになること。

②指導の内容に合わせて学校図書館などを活用することで、生徒のやる気を引き出すことができること。

「読むこと」における自身の従来の授業展開では、学習の目的が生徒に明確に示されていないことが多かった。生徒は、目的をもって読むことは少なく、いつものように前時までの続きを今日も「読む」ことが常態化していたのではないだろうか。しかし、生徒に学習の目的を明確に示すことで、指導者側も、評価の観点や、教材研究の視点及びその方法などが明確になった。また、この実践の後、他の教材における指導の工夫についても考えるようになった。

(2) 課題

PISA型「読解力」の定義は「自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、効果的に社会に参加するために、書かれたテキストを理解し、利用し、熟考する能力」である。その能

力を育成するためには、テキストからの「情報の取り出し」に偏った指導ではなく、さらにそこから先の「解釈」、「熟考・評価」、「表現」の中で「読む力・聞く力」、「考える力」、「書く力・話す力」を育成するような指導が必要である。

感想文を書くことを例に挙げても、ただ自由に書かせるのではなく、何かテーマを与えるなり、書き方を指導するなりして書かせるなどの工夫が必要であろう。「連続型テキスト」（文章で表された物語、解説、記録など）としての教科書教材だけでなく、教科書教材以外の「連続型テキスト」を読み比べるために取り入れたり、身近に存在する「非連続型テキスト」（データを視覚的に表現した図、地図、グラフなど）なども指導に取り入れたりして、PISA型「読解力」を育む指導を工夫していきたい。

使用教科書

- ・『高等学校 現代文』第一学習社

参考文献

- ・田中孝一監修 西辻正副・富山哲也編『中学校・高等学校 PISA型「読解力」－考え方と実践－』明治書院、2007年
- ・森鷗外著 井上靖訳『現代語訳 舞姫』筑摩書房、ちくま文庫、2006年
- ・田中孝一編『新しい高校国語 指導の理論と実践 第3巻 読むことの指導』明治書院、2001年

映像資料

- ・映画『舞姫』監督・脚本：篠田正浩、原作：森鷗外、脚本：田村孟、ハンス・ボルゲルト、1989年

2008年 月 日 ()

3-

森鷗外新聞

*この部分に、森鷗外の顔写真を資料集からコピーして貼る。

西暦	事項
一八六二	島根県津和野町で誕生。
一八七四	東京医学専門学校に入学。
一八八四	ドイツに留学。
一八八九	赤松登元子と結婚。 『我が母の生涯』 『我が母の生涯』
一九一〇	『舞姫』 『めづらし草』
一九二二	『雁』 『阿茶一族』
一九二五	『山椒大夫』
一九二六	『高瀬舟』
一九二七	七月九日死去。

※赤字は代表作。

生い立ち

二月十七日に誕生する。
本名は森不助。
森太郎は、学問を通して
家を興えようとする一家の
期待を一身に集めながら
成長していった。

上京

同郷の有名な啓蒙学者
であり政治家でもあった
西島の勧めで、一八七二年
に上京した。

ドイツ留学

一八八四年、一八八五年まで
ドイツで、ホヤヘンテン
コースルについて衛生学を
学んだ。

小説と評論

ドイツ留学後、鷗外の
文学活動は、翻訳と小
説と評論とに分けられ
る。『浮城物語』の体験を
盛り込んだ作品は、充
満小説だった。

最期

一九二〇年ごろから病臥
することが多くなり、一九
二二年七月六日に遺言を
筆記させ、七月九日に死
した。

舞姫

※あらすじを読んで
想像で四コママンガを書いた☆

鷗外に励むため、
木田重太郎はベルリン
に留学をする。

しかし...

赤松をめぐり、
日本へ帰国...

相沢が恋を止める。

エリス...

森鷗外

一八六二年(文久二)
一九二二年(大正)

小説家・評論家
浪漫主義

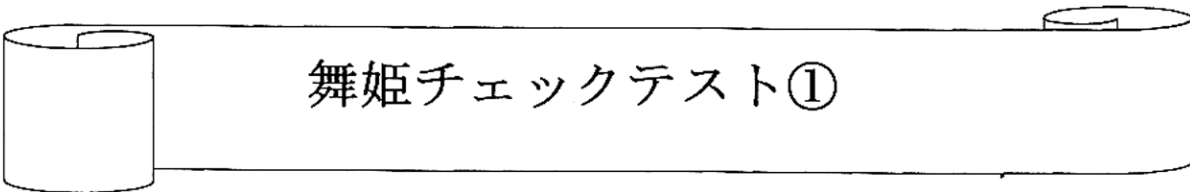
(明治三〇前)
反自然主義

(明治四〇大初)
歴史小説(文壇)に
生きかえを反映。

*この部分に、「スバ
ル」同人の写真を資料
集からコピーして貼
る。

*この部分に、森
鷗外の墓の写真を
資料集からコピー
して貼る。

▲鷗外の墓
(島根県津和野町)



舞姫チェックテスト①

次の質問を読んで合っているものには○、間違っているものにはその箇所に線を引き正しい答えを書け。

① 船は燃料である石炭をまだ積み終わっていない。

② 主人公は今、サイゴンにいる。

③ 主人公は、往路では当時の新聞に紀行文が載せられ、世の人々にもてはやされた。

④ 主人公は、復路でも日記をたくさん書いた。

⑤ 主人公はドイツで何事にも心を動かさなくなってしまった。

⑥ 主人公の精神状態は往路と復路では大きく変わってしまった。

⑦ 主人公はドイツの大学での学問に満足していた。

⑧ 船の中では体の不調を理由に、船室内にこもっていた。

⑨ 主人公は今、人知れぬ憂え事に頭を悩ましている。

⑩ 主人公はドイツであった出来事の内容をこの船の中で文章にした。

3 年 組 () 氏名

10

★第四段落（「明治二十一年の冬は来にけり～」）の部分に相当する映画のシーンを鑑賞して、感じたこと・疑問に思ったことを自由に書きましょう。

- ・映画は小説よりも豊太郎の責任が軽くなっていると感じた。映画の方が豊太郎がエリスを思う気持ちが強く描かれていると思った。
- ・映像だと風景がよく伝わって良かった。
- ・豊太郎の母が死なずに相沢に止められて生きていること、エリスは階段から落ちて流産してしまったことは小説と違って、豊太郎に対しては良かったのだろう。
- ・エリスの悲しみと、豊太郎の悲しみがひしひしと伝わってきて、豊太郎への印象が変わった。
- ・映画ではなぜ豊太郎の母は死ななかったのか。
- ・豊太郎が相沢と日本へ帰るとき、小説にはなかった、近所の人に文句を言われるシーンがあって、違いを感じた。

★映画では最後にエリスは階段から落ちて流産してしまうという設定になっていますが、脚本家はどうのような意図で、このように変えたのだと思いますか。

- ・天国から地獄に堕ちる様子を分かりやすくしている。
- ・エリスの悲劇をあおるため。
- ・エリスが一生精神病で暮らすのは、あまりにもかわいそうすぎるため。
- ・おかしくなったエリスを置き去りにして日本へ帰るのではなく、子供を失ったエリスを思っ
て涙する豊太郎にすることで、豊太郎の印象を少し和らげるため。
- ・子供がいない方が、豊太郎が日本に帰る決心がつきやすいため。
- ・エリスの気持ちを中心に、悲劇を描きたかったから。
- ・流産の方がリアル感がでるから。
- ・子供を殺してしまうことで、豊太郎の罪の大きさを表したかったから。
- ・実際に精神に障害を持った人への配慮から。

★あなたは小説と映画のどちらの結末が適当であると思いますか。どちらかを○で囲み、選んだ理由を書きましょう。

【 小説 映画 】

小説（25名：25.5%）

- ・エリスが階段から落ちるといのは、ありきたりすぎるから。
- ・豊太郎の言動がひどすぎて、そのひどさを表すにはやはりエリスが狂ってしまうという設定の方が、適当な気がするから。
- ・裏切られても、流産するより愛する人の子供がいるだけで幸せと感じられるから。

映画（73名：74.5%）

- ・小説の内容で終わってしまうとその先が気になり、すっきりしないため。
- ・小説ではエリスは一生精神病を患い、豊太郎もずっと気にし続けて生きていくことになるためそれではあまりにもかわいそうすぎるから。

『舞姫』のラストを書いてみよう！

3年 組 ()

★あなた自身はどのような結末がいいと思いますか。豊太郎が倒れた後の話を自由に書いてみよう。

(豊太郎はそのまま倒れてしまった)

エリスの必死な看病もむなしく、豊太郎の病状は悪化するばかりであった。豊太郎の苦しむ姿をエリスはただただ涙目で見つめていた。

ある夜、豊太郎の熱が急激に上がり、豊太郎は声を上げて苦しんでいた。

エリス：「豊太郎・・・こんなに苦しむぐらいなら・・・いっそ子のこと3人で楽になりましょう。どうせあなたと一生を共にするつもりだったのです。ゆるしてくれるわよね？」

相沢：「エリスさんのお宅は・・・？」

近所の人：「上の階だよ。」

相沢：「ありがとう。」

相沢が豊太郎の家を訪ねてきた。

母：「あら、相沢さん。二人なら奥の部屋にいるわ。」

相沢：「どうも。おじゃまします。」

相沢が部屋にはいると・・・

相沢：「なんてことだ・・・。」

エリスと豊太郎は手をつないで死んでいた。もちろんおなかの子も一緒に息をひきとっていた。相沢はあらためて二人の愛の深さを知った。

相沢：「私が豊太郎を悩ませたからこんなことに……。本当にすまない。」

相沢は三人をとて豪華な墓に埋めてあげた。

相沢：「豊太郎・・・お前はエリスさんを本当に愛し、そして愛されていたんだな。」

私は何か大切なことを忘れていたよ。」

相沢は愛の大切さに気づいたのだった。

豊太郎とエリスのおかげで……。

★あなたはどのような意図で、この結末を書きましたか。

悲劇のヒロイン、エリスを幸せにしてあげたかった。また名誉や地位よりも大切なものがあるということを伝えたかった。

【自己評価】

① 読者に分かりやすく書けたか。

- | | |
|-------------|------------|
| 1 よく書けた | 2 だいたい書けた |
| ③ あまり書けなかった | 4 全く書けなかった |

② 自分の意図を作品に表現することができたか。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 十分表現できた | ② やや表現できた |
| 3 あまり表現できなかった | 4 全く表現できなかった |

【感想】

物語を作るのは難しいと感じた。

【友人①の評価】

① 話の内容は分かりやすいか。

- | | |
|-------------|--------------|
| ① とてもわかりやすい | 2 だいたいわかりやすい |
| 3 わかりにくい | 4 非常にわかりにくい |

② 書いた人の意図は伝わっているか。

- | | |
|------------|------------|
| ① よく伝わった | 2 だいたい伝わった |
| 3 あまり伝わらない | 4 全く伝わらない |

③ 語句の使い方や表現方法は適切であるか。

- | | | | |
|---------|----------|-------|----------|
| ① とても適切 | 2 だいたい適切 | 3 不適切 | 4 非常に不適切 |
|---------|----------|-------|----------|

【感想・アドバイス】

意外な結末におどろいた。でもすごく良かったと思う。

森鷗外作品並みにおもしろかった。

【友人②の評価】

① 話の内容は分かりやすいか。

- | | |
|-------------|--------------|
| ① とてもわかりやすい | 2 だいたいわかりやすい |
| 3 わかりにくい | 4 非常にわかりにくい |

② 書いた人の意図は伝わっているか。

- | | |
|------------|------------|
| 1 よく伝わった | ② だいたい伝わった |
| 3 あまり伝わらない | 4 全く伝わらない |

③ 語句の使い方や表現方法は適切であるか。

- | | | | |
|---------|----------|-------|----------|
| 1 とても適切 | ② だいたい適切 | 3 不適切 | 4 非常に不適切 |
|---------|----------|-------|----------|

【感想・アドバイス】

一緒にいるためには死ぬしかなかったので、納得した結末でした。

『舞姫』まとめ

3年 組 ()

★もしあなたが登場人物だったらどのように行動しますか。登場人物一人を選び () に書き入れ、文章を続けてみよう。(※どうしてそのように行動するのか、その結果話がどのように変わると予想されるのかということについても書こう。)

もし私が () だったら、
生徒例① もし私が (エリス) だったら、豊太郎を嫌いになる。自分のことを置いて日本に帰る人などこっちからお断り。別れ際に何らかの復讐をする。
生徒例② もし私が (豊太郎) だったら、エリスを大切に守り、相沢に分かってもらうように話したいと思う。なぜなら、自分の意志で生活できる喜びを知ったからこそ、自分の意志で生活していくことが大切だと思うから。
生徒例③ もし私が (エリスの母) だったら、お金を差し出されても受け取らないで豊太郎を引き止めたと思います。それは娘がどれだけ豊太郎を愛しているのか、よく分かっていたはずだからです。

★『舞姫』を読んだ感想を書こう。

・豊太郎の心の弱さにとても残念な気持ちになった。自分の心が弱いとあそこまで人に流されてしまうということがよく分かった。大事な場面で自分の気持ちが言えないと、大切な人を傷つけてしまうこともよく分かった。(自分はそうならないようにしたい)
・実際これが自分だったら、帰国後も罪悪感で一杯になり、日々の生活が味気ないと思う。
・エリスがとてもかわいそうだったが、豊太郎もきつとつらい判断だったのだろうと思う。
・私も友人にあんな期待や信頼をされていたら、断ることはできないと思う。
・豊太郎一人が悪者のように見えるが、実はエリスも相沢もどこかに問題があったような気がする。豊太郎の優柔不断さやエリスの熱烈な愛情、相沢の友を思う気持ちが複雑になってしまっていて、難しい話だと思った。
・いろいろ考える授業があり、物語の中に入っていたような気分になった。